

三重県入札等監視委員会 審議概要（令和4年度 第3回）

開催日及び場所	令和4年11月30日(水)14:00~16:00 JA三重健保会館大研修室	
出席委員	委員長 木本 凱夫 副委員長 堤 大三 委員 山田 梨津子 委員 山崎 美幸 委員 加藤 拓也 委員5名中5名出席	
審議対象期間	令和4年7月1日から令和4年9月30日	
抽出案件	総件数 4件	(備考)
一般競争入札	3件	
指名競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 令和4年度 第3回定例会（令和4年11月30日）	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ① 徳田地区 高度水利機能確保基盤整備事業(緑)区画整理その4工事〔四日市農林事務所〕	
<p>・今回の事業の全体が平成31年度からということだが、実際に工事にかかったのは令和3年度からということであり、平成31年度から令和3年度まではどのような事業内容だったのか。</p> <p>・総合評価方式評価項目の社会貢献度のところで、次世代育成支援活動実績で、育児休業制度が就業規則等に規定されている場合に評価しますと記載されているが、育児休業制度はどの企業でも規定されているという認識だが、これを評価し加点することについて、見直さなくていいのかと思うがどうか。</p> <p>・自動給水栓はこの工事のどの部分に入っているのか。</p>	<p>・平成31年度から、この事業を計画して国へ申請し、その後1年程度かけて測量設計をしている。</p> <p>・当初に比べれば、ほとんどの企業が規定しているが、全ての企業が規定しているわけではない。</p> <p>・自動給水栓は、用水路工の部分である。</p>
工事名 ② 府中地区 地すべり対策事業施設長寿命化計画策定業務委託〔伊賀農林事務所〕	
<p>・この地域がマサ土の地帯ということだが、それをもって地すべり防止区域に指定された経緯は何か。</p> <p>・過去の入札状況を見ると、いずれも落札率が82%と、今回と乖離があるように思うが、過去と比べて難しい内容のため乖離があるのか。</p> <p>・総合評価で技術者要件の管理技術者の業務実績がない入札者がいるが、業務実績がなくてもよいのか。</p>	<p>・昭和28年の災害により地すべりが生じているということで昭和38年に地すべり防止区域に指定された。</p> <p>・今回初めて、長寿命化計画ということで発注する形で実績がないため過去に比べ落札率が高くなったと考える。</p> <p>・総合評価方式評価項目の評価対象業務の実績のことであり、実績がない入札者もいる。</p>
工事名 ③ 三重県総合文化センター 屋外開閉所受電設備等改修工事〔営繕課〕	
<p>・工事ステップとして、ガス絶縁開閉装置1号線と2号線を両方更新してから使用前検査安全管理審査をすることだが、先に更新した方はもう片方を更新する際に使用しながら工事することとなり、使用前検査は先に更新した方を使用する前にも必要ではないのか。</p> <p>・過去の入札状況では3者ほどが入札に参加しているが、今回の工事とは難しさなどが違うのか。</p> <p>・新型コロナウイルスや世界情勢の影響で機器の納期が通常よりかかるということだが、工期はそれらの影響を見込んだものか。</p>	<p>・使用前検査は経済産業省の検査のことであり、機器の検査、調査試験と両方の試験の結果をもって、経済産業省の方へ法律的書面上の検査を受ける。</p> <p>・工事の規模的なものは同じだが、設備の安全上の難しさなどがある。</p> <p>・将来的に不確定なところはあるが、現時点では無理のない工期であると考えている。</p>
工事名 ④ 新屋敷取水所1号、2号加圧ポンプ分解点検工事〔中勢水道事務所〕	
<p>・過去の入札状況と比べると、今回の工事は金額的に割高に思えるがどうか。</p> <p>・今回二つの工事を合わせたことによって、入札者が少なくなったということはないのか。</p> <p>・補修できない場合は、追加の部材を発注して交換をすることだが、見積には一切入っておらず、必要な場合は設計変更し契約を変更するのか。</p>	<p>・今回の工事は定期点検を含めたものとなっている。</p> <p>・二つの工事を合わせたことによって、1者入札に影響したということはないと考えている。</p> <p>・補修できない場合は、その都度見積もりを依頼しその妥当性を判断しながら必要な場合に設計変更し契約を変更する。</p>
その他	
・次回、令和4年度第4回入札等監視委員会の開催日は、令和5年2月20日(月)とする。	